授業科目　生理学実習Ⅰ

| 【担当教員名】 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 理学（前半）・作業 |
|---|---|---|---|---|
| 宮岡 洋三、川上 心也 | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 必修・必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30・30 |

【概要】

本科目では、「感覚機能、運動機能、心臓・循環機能、呼吸機能、消化機能」について実験的に学ぶ。基礎資料（講義用の教科書と生理学サイトhttp://www.nuhw.ac.jp/~physiol/）からの情報収集、自分自身や友達を対象とした実験、そして採取したデータの適切な取りまとめを通して生体機能の理解を深める。

【学習目標】

1. 本学の「生理学サイト(http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/)」にアクセスし、実習資料を入手できる
2. 入手した実習資料を基に、実習遂行に必要な知識を整理できる（必要に応じて、図書館などで参考図書に当たり、資料を適宜加工できる）
3. 実習に参加して（【履修上の留意点】を参照）、必要なデータを採取できる
4. 採取したデータを基に実験結果をまとめ、その生理学的な意味を考察できる
5. まとめたデータへの検討を通して、自分や友達の結果・考察に対してコメントできる

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO番号 | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1、2 | 実習ガイダンス | | 実　習（宮岡、川上） |
| 3～5 | 体性感覚：表面感覚(感覚点)　皮膚感覚点の検索 | | 実　習（宮岡、川上） |
| | 体性感覚：深部感覚　重量弁別の実験 | | 実　習（宮岡、川上） |
| 6～8 | 体性感覚：表面感覚(二点弁別)　二点弁別閾値の測定 | | 実　習（宮岡、川上） |
| | 心臓機能：心電図(ECG)の記録・解析 | | 実　習（宮岡、川上） |
| 9～11 | 循環機能：血圧の測定 | | 実　習（宮岡、川上） |
| | 呼吸機能：肺活量・1秒率の測定 | | 実　習（宮岡、川上） |
| 12～14 | 運動機能：表面筋電図(EMG)の記録・解析 | | 実　習（宮岡、川上） |
| | 消化機能：唾液分泌量の測定 | | 実　習（宮岡、川上） |

| 【使用図書】 | ＜書名＞　＜著者名＞　＜発行所＞　＜発行年・価格・その他＞ |
|---|---|
| 教科書（必ず購入する書籍） | |
| 参考書 | 講義の教科書（大地陸男著「生理学テキスト第4版」、文光堂、2003年）<br>本学図書館には、生理学に関する各種書籍・ビデオがあるので、自主的に参考にして欲しい。 |
| その他の資料（必須） | 「生理学サイト」(http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/) |

【評価方法】

実習科目であるため、「出席（参加）」を重視する。「出席」と「レポート」を評価全体の80％とする。残る20％の評価は「期末試験」とする。

【履修上の留意点】

実習室ならびに実習用具の制約から、上記の「授業計画」にある項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。

なお、客観性と公平性の確保が困難な「実習態度」は評価の対象としないが、明らかに他人の迷惑となっている場合には、退室を求めることがある。